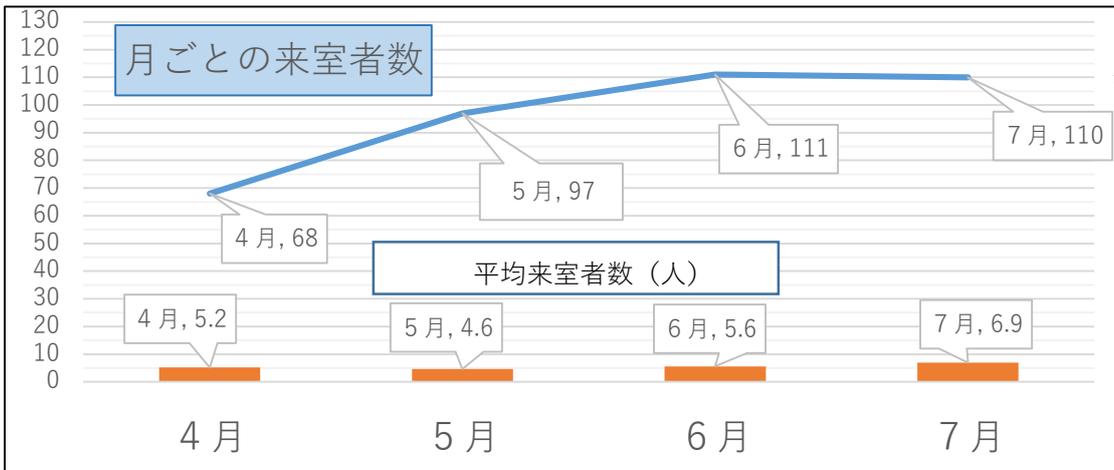




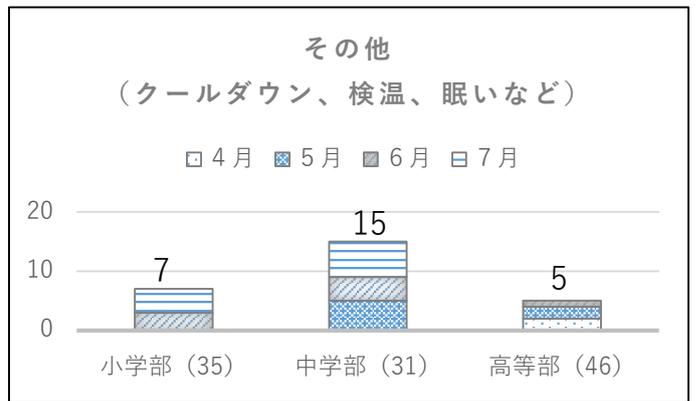
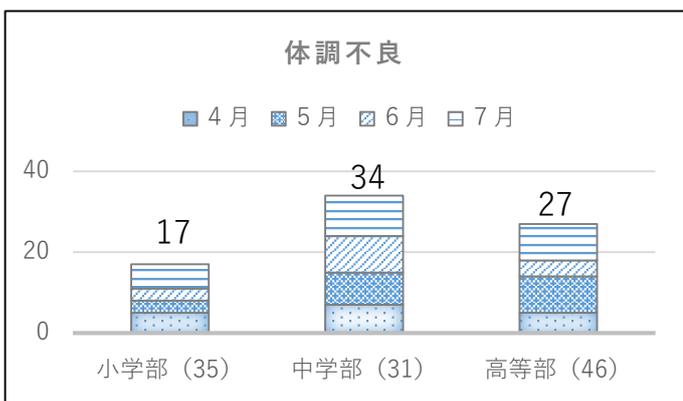
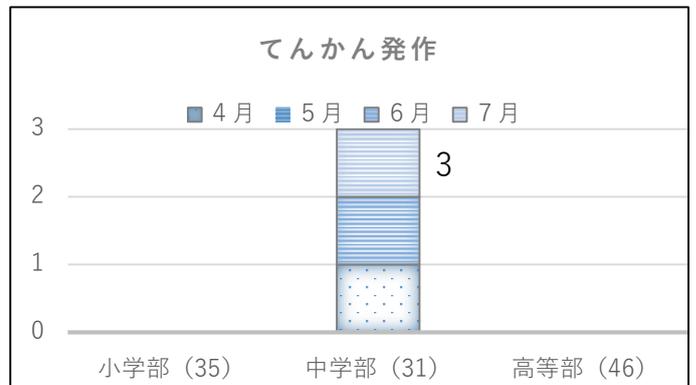
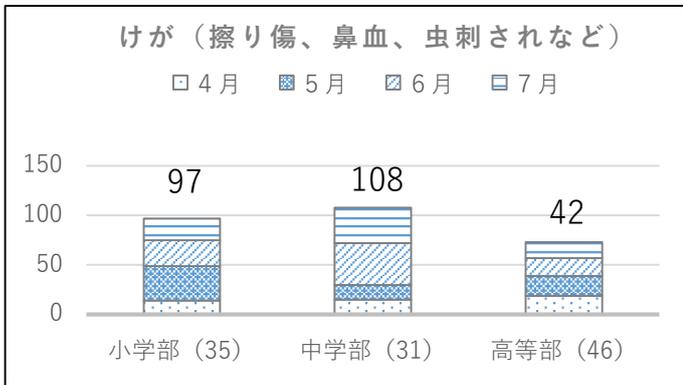
9月6日（金）に学校保健委員会が開かれました。児童生徒の健やかな成長のためにと学校医の先生方が出席され、貴重な御意見をいただきました。また、保護者の皆様には、「元気チェックカード」に御協力いただきましてありがとうございました。今回はそのときに話し合われたことをお知らせいたします。



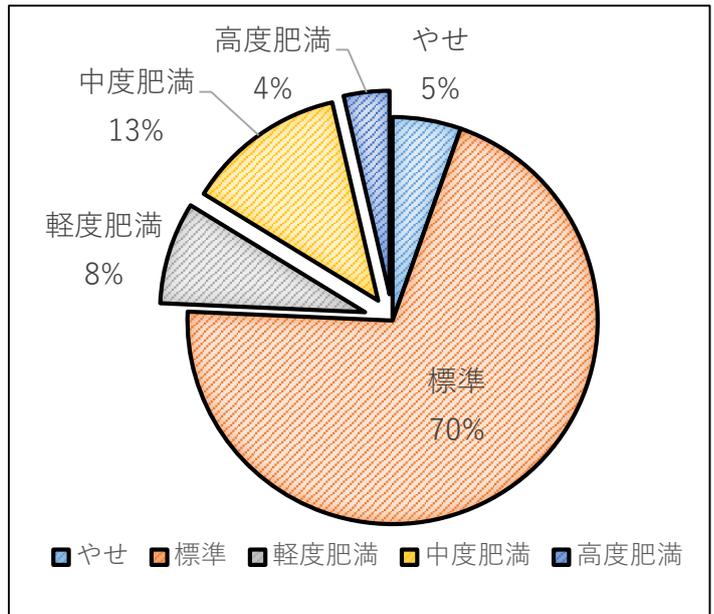
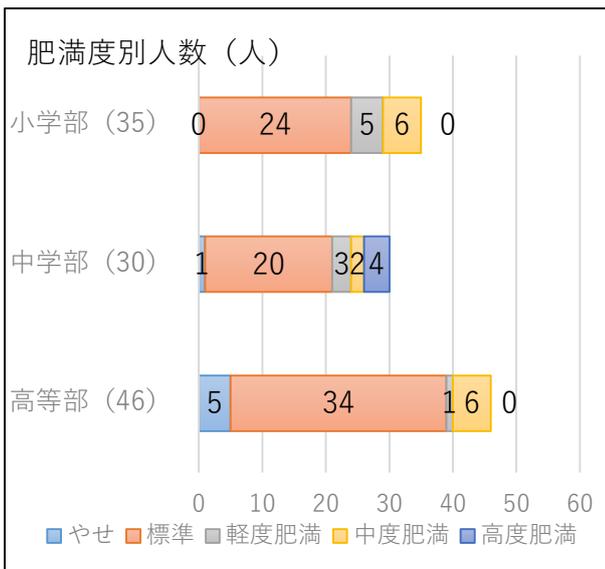
【保健室来室状況と内訳】



1日平均5.5名が来室しています。曜日別では、火曜日の来室が多くなっています。



【定期健康診断結果より】



肥満度 = (実測体重 kg - 身長別標準体重 kg) / 身長別標準体重 kg × 100%

- やせ: -20%未満
- 標準: -20%~20%未満
- 軽度肥満: 20%~30%未満
- 中等度肥満: 30%~50%未満
- 高度肥満: 50%以上

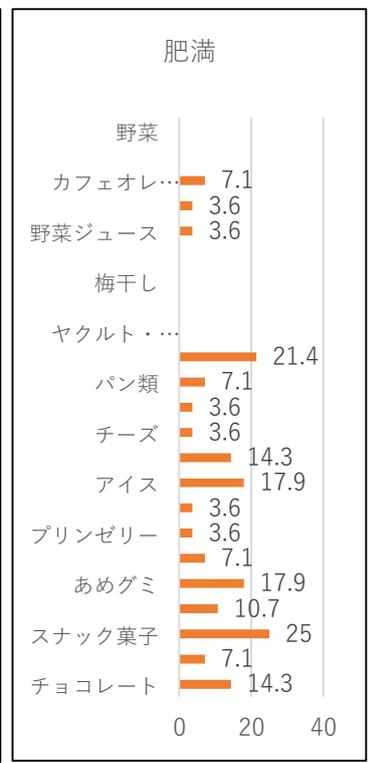
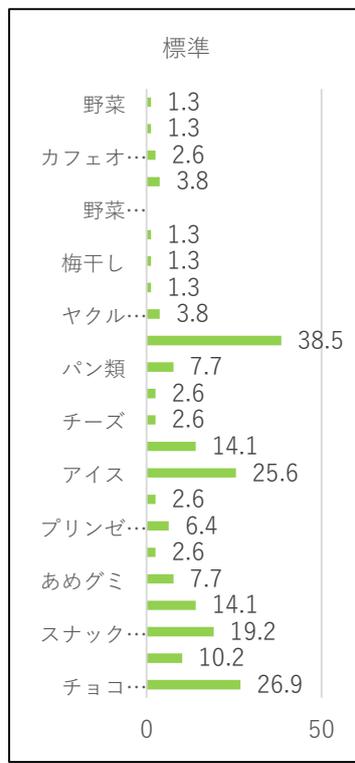
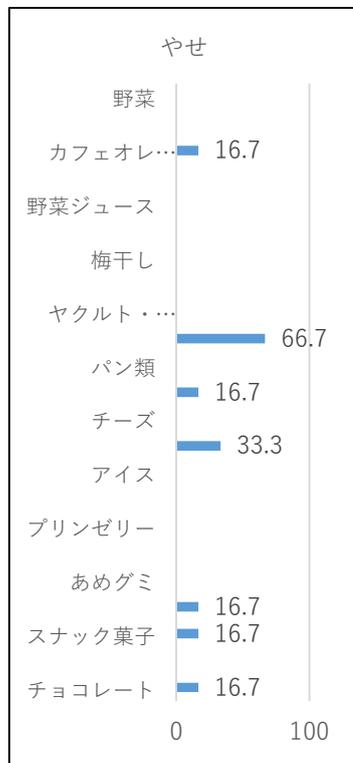
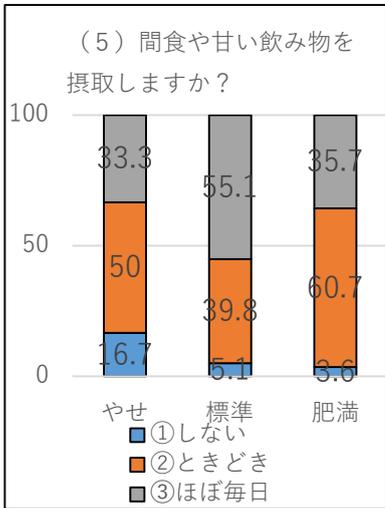
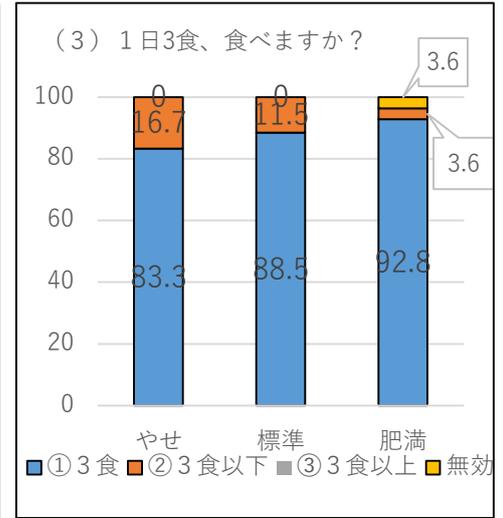
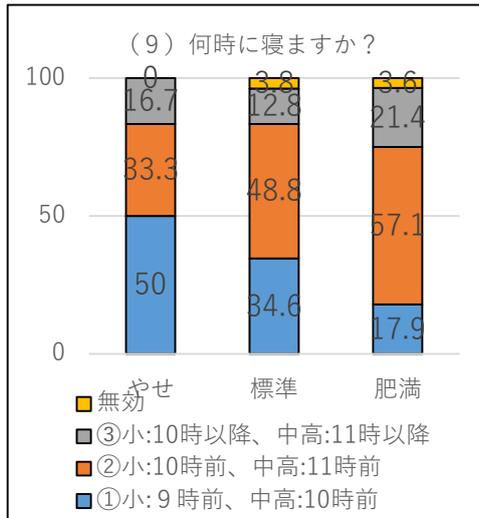
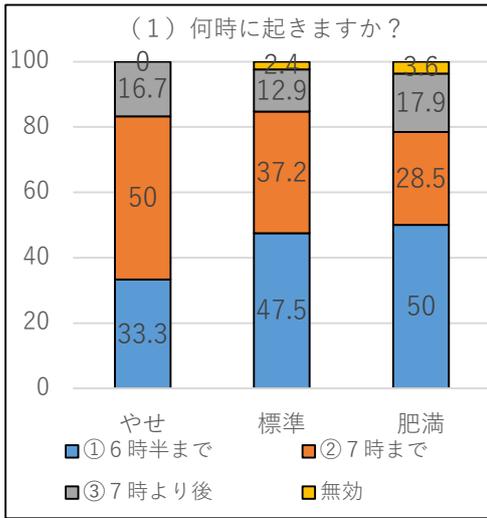
肥満傾向 (肥満度が20%) の児童生徒は、35%と多くなっています。食事や間食の内容や量について考えていきましょう。

学部 (人)	検査人数	歯列咬合		歯垢		歯肉		う歯なし	う歯 処置完了	う歯あり		要注意乳歯あり	歯列咬合矯正中	要観察歯あり	備考
		要受診	要観察	要受診	要観察	要受診	要観察			乳歯	永久歯				
小学部 (35)	35	1	6	0	17	0	15	24 (68.6%)	2 (5.7%)	9	0	5	0	0	
中学部 (31)	30	0	8	0	15	0	17	24 (80.0%)	3 (10.0%)	2	1	3	0	4	未検者 1名
高等部 (46)	45	4	17	4	33	2	39	35 (77.8%)	7 (15.6%)	0	3	6	1	8	未検者 1名
合計 (112)	110	5	31	4	65	2	71	83 (75.5%)	12 (10.9%)	11	4	14	1	12	

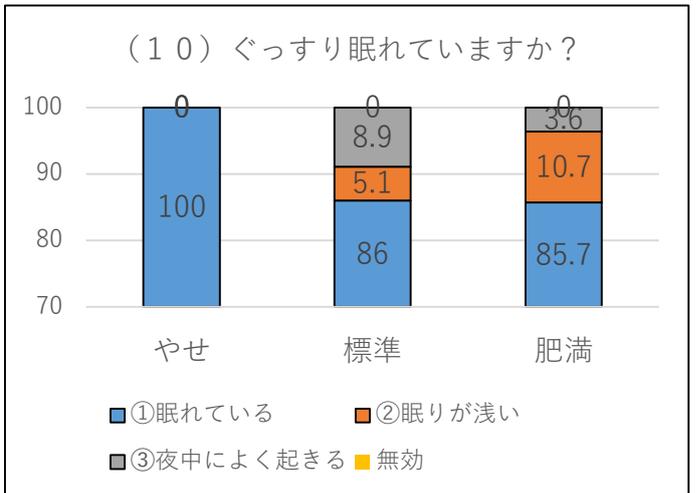
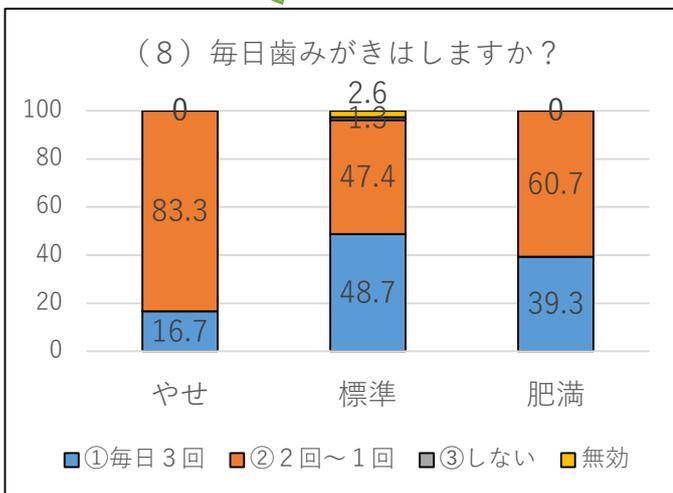
歯垢・歯肉の要観察者数は昨年度と比べると増えています。歯みがき大好きになるような保健指導の工夫を考えていきます。う歯ありで歯科受診まだの方は、受診をお願いいたします。

肥満度から、やせグループ・標準グループ・肥満グループに分けて集計しました。

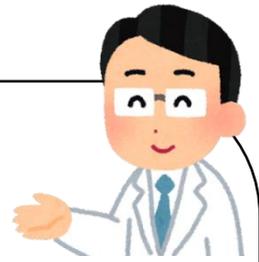
【元気チェックカード結果より】



毎食後の歯みがきをがんばりましょう。



～参加された方々より～



内科校医 八鍬 直先生より

私の方からは、機能的な問題として、ある中学1年生の生徒さんが学校に来れない。学校に来ては、騒ぎまくって、声も出さず。なにかすると寝てしまう、そういうお子さんです。診察してみると結局扁桃腺炎、扁桃肥大がありました。それによる閉塞性の睡眠時無呼吸症候群でした。扁桃摘出手術をして、すっかりよくなったというケースがありました。これで、ちゃんと起きられるようになり、授業も受けられるようになり、そういう事例もありました。肥満や睡眠障害があるお子さんがいる時に、いろいろな角度から検討させていただいて、もしかしたら、そういう物理的・気質的な障害も中にはあるよというようなことを頭の片隅にいられていただければいいと思います。

脊柱側弯症の検診については、途中からなってくる方もいて、特に女性に多く、男性の5～6倍います。小学校5、6年生から始まってあっという間に完成してしまい、取り返しのつかないくらい大変になります。我々が診察しても分からない、背中を見せていただいても分からない、他の学校では着衣検診という方針にもなっていて、ますます分からなくなってきました。先生方や保護者の方も、お家で見ていて、おかしいなと思った時は、すぐに整形外科に受診していただきたいと思います。

歯科校医 田中 章啓先生より

今、フッ素塗布に関しては、歯を削らないと治せなくなる前のすごくいい方法ではあるので、海外でも広がってきているし、日本でもフッ素塗布をして、なるべく歯を防ごうという流れができていますので、今後もぜひ続けていただきたいです。やっていただいたほうが、体が成長するにしたがって、歯の治療をやる必要がないような強い歯を作っていくことに関しては非常に有効だと思います。

今回、色々集計結果の方でみると、どんなおやつを摂取しますかというところで、肥満のお子さんで結構、数字だけ見るとですがアメ、グミ、スナック菓子の割合が他のやせ・標準の子に比べて多いかなと感じました。そのあたりから、お子さんにやはりカロリーの高い物を食べさせている家庭が多いと思いました。歯科の方から言えば、アメ、グミは、特に歯に残りやすいです。中でもキャラメルが一番危ないので、保護者の方にお話しする時には、口の中にできるだけ停滞しないものが良いので、与える時に、そういうこともお話してもらってもいいのではないかと思います。最後のまとめで睡眠の質のところありましたが、特に肥満の方で眠りが浅いというのは、お子さんの成長の過程で肥満になると気道が閉塞して、成人でよくいる睡眠時無呼吸のようなものが起こって、眠りが浅くなっているのかなとも思いました。この辺について、どういった指導が必要なのかということまでは、専門外のため、私には分からないのですが、専門家の方にご指導いただけたら良いのではないかと思います。後は、枕とか体勢の問題もあるのかもしれないのではないかと思います。



他の参加者の方のお話は、次回掲載します。